

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 水野民也

No.21 (1982~1983)

MANKIND IS ONE-
Build Bridges of Friendship
Throughout the World

人類はひとつ
世界中に友情の橋をかけよう
1982~83年度RI会長 向笠広次

第21回例会 昭和58年1月11日(火)晴

◇“我等の生業”

◇出席報告

会員 45名 出席 40名

出席率 88.89%

◇前回 1月4日(修正出席率)97.50%

make up

加藤(大)君(1/7北), 加藤(保)君(1/7北), 黒野君(1/6瑞穂), 日下君(1/7北), 三輪君(12/30東南), 西川君(1/6瑞穂), 大口君(12/30瑞穂), 斉藤君(12/31港)

◇ビジター紹介 4名

◇誕生日祝福

加藤(敏)君(1/16), 鈴木(正)君(1/16), 鈴木(猛)夫人(1/2)

◇ニコボックス

東RC尾関君(御無沙汰しました), 大口君(ホームクラブの欠席が続きましたので), 東RC沢村君(新入会員, 親友鈴木正男君の入会を祝しまして), 黒野君(色紙チャリティ展無事終了と家内が名古屋日展に入選したので), 加藤(敏)君(誕生祝), 鈴木(正)君(誕生祝), 鈴木(猛)君(夫人誕生祝), 菅原君(結婚記念祝), 谷口君(結婚記念祝)

◇松居幹事報告

1. 本日例会終了後, クラブアセンブリーを行いますので理事役員, 正副委員長の方々は2F橋の間にお集り下さい。
2. 次回例会はガバナー公式訪問ですので, 全会員の方々の出席をお願いいたします。尚, 例会終了後, クラブアセンブリーを行いますので理事役員, 正副委員長の方々はお忘れなく御出席下さい。

◇新入会員紹介

氏名 小林正幸君



生年月日 昭和11年11月19日
事業所 東海銀行星ヶ丘支店
千種区田代町瓶杖1-466
TEL 781-6326
地位 支店長
自宅 愛知県知多郡阿久比町白沢
字南石根 1-87
推薦者 水野民也
職業分類 商業銀行
委員会 親睦活動



氏名 久保田^{あきら}皓君
生年月日 昭和20年9月15日
事業所 久保田法律事務所
千種区西山元町2-9-6
TEL 763-4068
地位 所長
自宅 千種区西山元町2-9-6
推薦者 樋田勝三
職業分類 弁護士
委員会 会報



氏名 宮尾 紘司 君
 生年月日 昭和19年12月10日
 事業所 公認会計士 宮尾紘司事務所
 千種区覚王山通7-16-2
 池下トーホービル 401号
 TEL 762-3577
 地位 公認会計士
 自宅 千種区覚王山通7-16-2
 推薦者 三輪 康
 職業分類 公認会計士
 委員会 会計



氏名 笹野 義春 君
 生年月日 昭和12年7月30日
 事業所 (株)笹野運輸
 中村区稲西町208
 TEL 411-3811
 地位 取締役社長
 自宅 千種区御影町1-55
 推薦者 深見 章
 職業分類 運送業
 委員会 親睦活動



氏名 鈴木 正男 君
 生年月日 大正12年1月16日
 事業所 公認会計士 鈴木正男事務所
 千種区猪洞通5-4
 TEL 761-6238
 地位 所長
 自宅 千種区猪洞通5-4
 推薦者 水野 民也
 職業分類 公認会計士
 委員会 ロータリー情報

◇水野(民)会長挨拶

本日は例会終了後、初めてのクラブアセン

ブリーを行います。アセンブリーとはRIにおいては協議会を意味し、その他に地区アセンブリー、国際アセンブリーとがあります。このクラブ協議会では、全役員理事・各種委員長が集りクラブの計画運営について円滑かつ活発に行われるもので、年に最低2回、そして今回の様にガバナー公式訪問の前は必ず行われるべきものです。

アセンブリーの他にフォーラムというものもあります。これは市民の広場を意味し、一般会員がロータリーの諸問題を自由に討論、検討できるものであります。2月にインターンティゼネラルフォーラムが開催されるので新入会員の多数参加が望まれています。その他コンベンション(国際大会時)、コンフェレンス(地区大会時)等があり出来れば皆さんも各種の会合に御出席下さい。以上各種の会合の意味合いの話しをして本日の挨拶といたします。

◇講演

“仕事から得た医学知識”

会員 秋山 茂則 君



昨年8月、我が社の編集部長が48歳で肝臓癌のため不帰の客となりました。現在癌患者は年々増加し日本で20万人、米国で83万5千人もいます。現在我が社で癌の本を製作しておりますが、「症状からみた癌診断」というテーマを先生に出したところ、そんなものは書けない」と即答されました。癌というものは症状がでたときは手遅れであるということです。又その道の専門家である医者自身さえ癌に侵されていてもわからないそうです。癌細胞は或る日突然に正常細胞が変化して癌細胞となり、体中を動き廻って巣をみつけ長期間に増殖をして癌という病気をつくるわけで、本人には自覚症状がなかなか出ず、気づく頃は手遅れなのです。

先日、東大の原沢教授の講演でのお話しに寿命を全うしたといわれた老人270名を解剖したところ、そのうちの95%が何らかの病気が原因で亡くなっている。そして殆どの老人に癌組織が認められたそうです。癌が、今日の結核のように治る病気となるには20年先であろうといわれています。原因としては食物30%、たばこ30%となっています。つまり片寄った食事はよくないし、たばこについては申し上げるまでもありません。日常生活の中で配慮し癌への道を避けて通るように心掛けたいと思います。

◇次回例会(1月18日)ガバナー公式訪問

大隈孝一 ガバナー講話